



TapeStation簡単マニュアル High Sensitivity D5000

ver. 1.1_2015. 11



ご注意) 本マニュアルに記載した内容は予告なしに変更することがあります
最新版は巻末のサポートページからダウンロードしてください

Kit 内容



ScreenTapeキットと試薬キットが必要です

・High Sensitivity D5000 ScreenTape (5067-5592)

4°C (2 -8°C)
保存

ScreenTape 7 枚 (112 サンプル分)

・High Sensitivity D5000 試薬キット (5067-5593)

4°C (2 -8°C)
保存

● High Sensitivity D5000 Sample buffer (300 µL x 1vial)

● High Sensitivity D5000 Ladder (20 µL x 1 vial)*

*High Sensitivity D5000 Ladder単体でもご購入いただけます (5067-5594)

必要消耗品



指定品以外使用しないでください

データに影響がでる・装置が故障する可能性があります

装置購入時に以下の消耗品 (1セット) が付属しています

- ・Loading Tips (384本入りチップラック1個)* (5067-5153) * 10個セットも購入可能です (5067-5152)
- ・8連PCRチューブストリップ (120本) (401428)
- ・8連PCRオプティカルキャップストリップ (120本) (401425)

8連チューブで行う場合使用します



High Sensitivity D5000 アッセイでは96-well plateは使用できません。

ご用意いただくもの



キット及び装置には付属していません

- ・ピペット 及び ピペットチップ
- ・遠心機 (スピンドウン用)
- ・ボルテックス (システム付属の96-well plate用 IKA vortexをお持ちでない場合)

Software



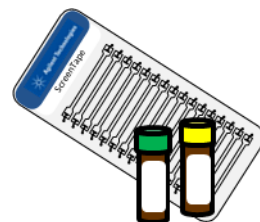
Version A02.01以上が必要です。

準備に入る前に...



ScreenTapeと試薬を室温(23-25°C 前後)に30分以上おき、室温に戻してください。試薬は使用前によく混合してください。

サンプル調製は室温(23-25°C前後)で行ってください。

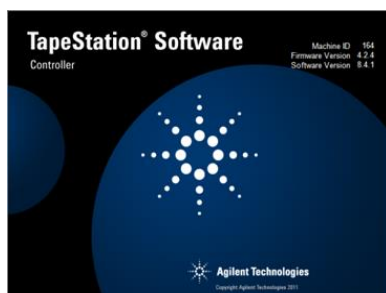


PCおよびTapeStationの電源を入れ、Controllerソフトウェアを起動し、本体とPCが接続されていることを確認してください。

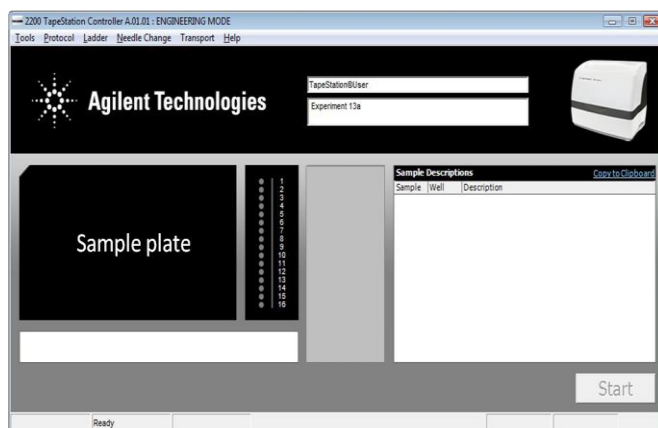
Controller ソフトウェア



起動画面



装置を認識し、calibration後の画面



装置が認識されない場合、エラーメッセージが出てソフトウェアが立ち上がりません。

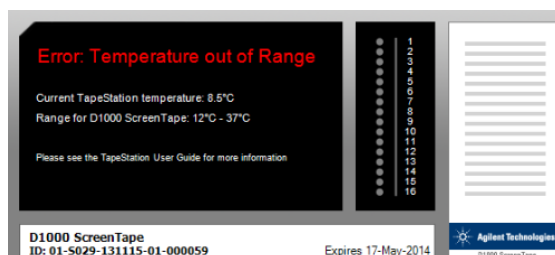


装置の電源・電源ケーブル・接続ケーブル をチェックしPC、装置を再起動してください。



High Sensitivity D5000の場合、動作環境温度は**15-30°C**です。範囲外の温度でScreenTapeをセットすると、エラーメッセージが表示され測定開始できません。

また安定したデータを取得するための至適温度は20°Cです。



サンプルの定量範囲

*Kitのスペック表(p10)も合わせてご覧ください。

High Sensitivity D5000定量範囲: **10 - 1000** pg/ μ L*



濃度の高いサンプルはNuclease-free water等で希釈してください。

範囲外の場合、定量値に影響があります。

Ladder及びサンプルの調製



必ず手袋をしましょう

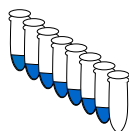
Ladderについて

必ずLadderを泳動してください。Software Ladderは使用できません。

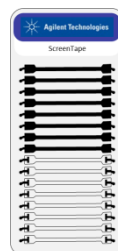
分析サンプル数について

サンプルは2個ずつ処理されます。サンプル数がLadderも含め奇数になる場合はScreenTapeの1レーンが余分に使用されますのでご注意ください。

例) Ladder + 6 samples = 7サンプル



→ 8レーン使用



ScreenTapeについて

ScreenTape1枚のみ泳動が可能です。2枚以上は使用できません。

消耗品について

必ず指定の8連チューブをご使用ください。データに影響が出る・装置が故障する可能性があります。

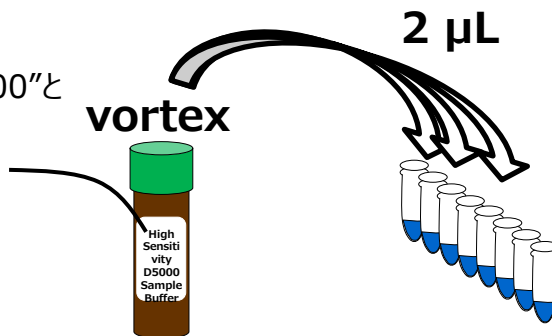
High Sensitivity D5000 アッセイでは96-well plateは使用できません。

- 1 Sample Buffer (●) をvortexで良く混ぜた後、8連チューブに2 μ Lずつ分注します。



ラベルに“High Sensitivity D5000”と記載があることを確認してください
その他のDNA Kitとバイアルの色・形が同じなのでご注意ください。

vortex



Sample Buffer

Ladder及びサンプルの調製（つづき）

2 **2 μ L**のLadder（●）または DNAサンプルを加え、フタをします。

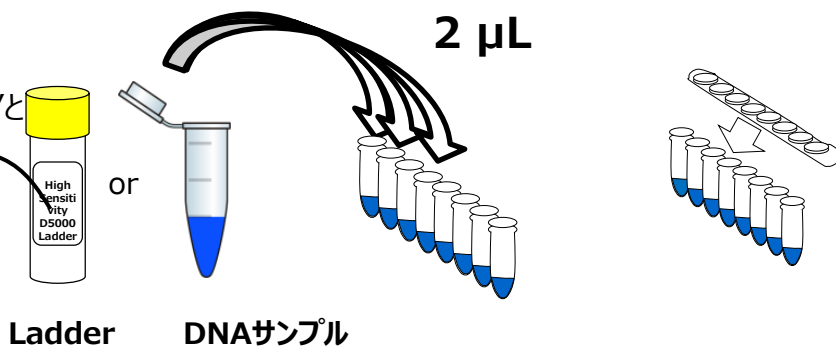


ラベルに“High Sensitivity D5000”と

記載があることを確認してください

その他のDNA Kitとバイアルの色・形が

同じなのでご注意ください。



point

ソフトウェアが1番目のサンプルをLadderと自動で指定するのでLadderを**1番初め**のチューブ/ウェルに入れると便利です。

- 1番目以外に入れた場合、泳動後解析ソフトウェアでLadderを指定する必要があります。
方法は解析ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

3 vortexで**よく混合**します。



混ぜ方が不十分な場合、定量値に影響を与えます

付属のvortexをお持ちの場合

2000 rpm で**1min**混合してください。

8連チューブの場合、しっかりフタを閉めアダプタに奥までセットしてください。

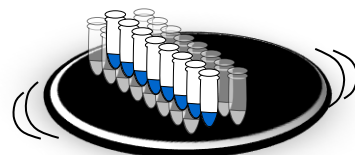
付属のIKA vortex



付属のvortexをお持ちでない場合

Maxで**10s**の混合を**2回**繰り返してください。

8連チューブの場合、全てのチューブ内で液が混合されていることを確認してください。



10秒

スピンドウン
くりかえし

4 スピンドウンして液が底にあることを確認してください。

装置のセット

蓋をあけ、Sample plate & サンプル、Tip holder & Loading tip、ScreenTapeをセットします。



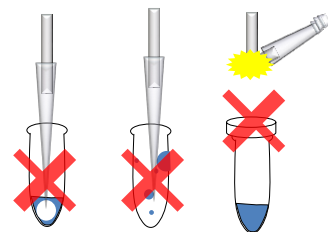
1 Sample plate & サンプル

8連チューブ用sample plateをセットし、調製したサンプルをセットします。

96-well plateは使用できません。Sample plateを入れるとエラーメッセージが表示されます。



チューブの底にサンプルがあるか、気泡がないか確認してください。
8連チューブの場合、蓋を必ず外してからセットしてください。



2 Tip holder & Loading tip

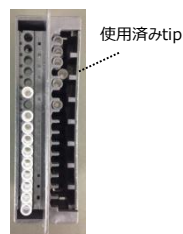
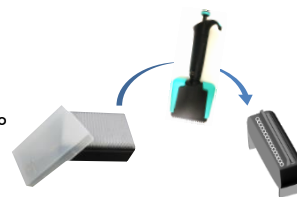
Loading tipをセットしたTip holderを装置にセットしてください。

Loading tipのセットはTransfer toolを使用すると簡単です。

使用済みのtipが残っている場合、泳動を開始できません。取り除いてから装置にセットしてください。



16サンプル以下でも16本のLoading tipをセットしてください。未使用のtipは次回、使用できます。
Loading tipを入れる場所を間違えるとサンプルがロードされずレーンが無駄になります。



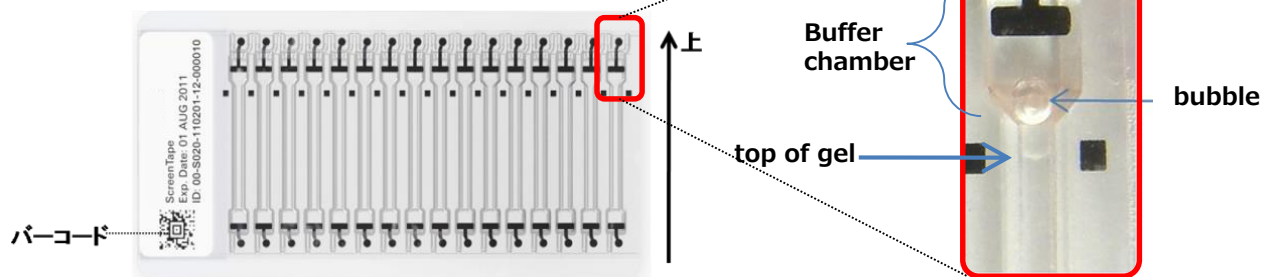
装置のセット (つづき)

3 ScreenTape

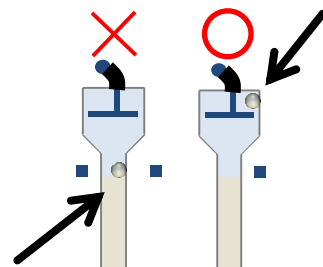
セットする前にScreenTapeのバーコードを下にし、**上端を軽くはじき**

気泡をBuffer chamberの上の方に移動させます。

GelとBufferの境界に気泡があるとデータに影響を与えます。



使いかけのTapeの場合、使用済みのレーンからBufferが飛び散る可能性があるので注意してください。



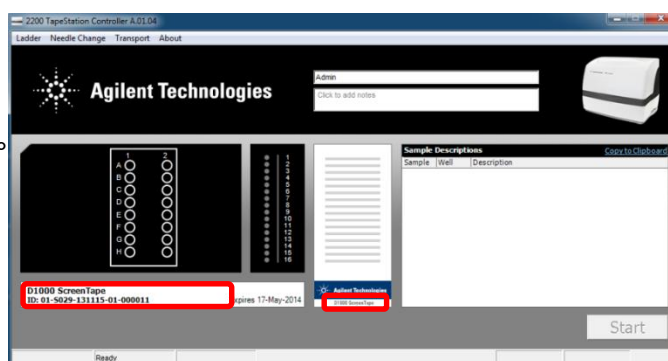
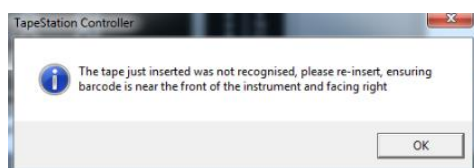
4 ラベルを手前、バーコードを右側にして装置にセットします。

ScreenTapeが認識されると画面上にTapeの絵が現れます。ScreenTapeの絵および左下 () に “High Sensitivity D5000”と表示されていることを確認してください。

Tapeの向きが間違っている場合、エラーが表示されます。

向きが正しいにもかかわらずエラーメッセージが出る場合、

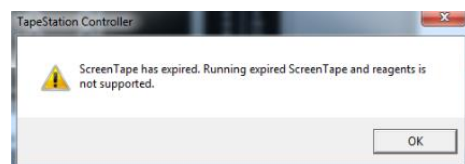
Tapeを入れなおしてください。



使用期限が過ぎているTapeを入れた場合、メッセージが表示されます。

期限が切れたTapeを使用したデータに関しましては、

一切保証できませんのでご了承ください。



5 装置のフタを閉めます。

Control Software

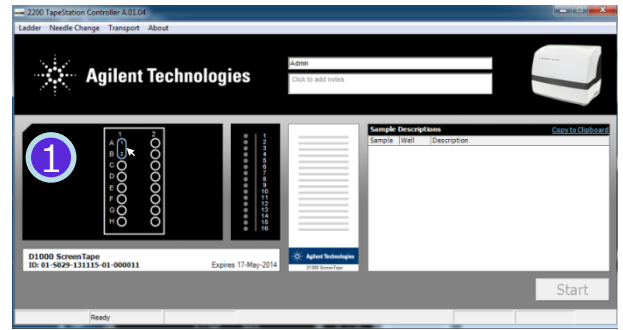
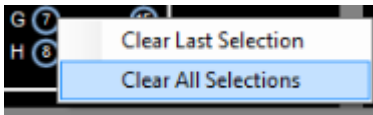
1 サンプルウェル

Controlソフトウェアのsample plateのウェルをクリックまたはドラッグします。



サンプルは2つ単位でのみ選択可能です。

右クリックから選択を取り消すことができます。

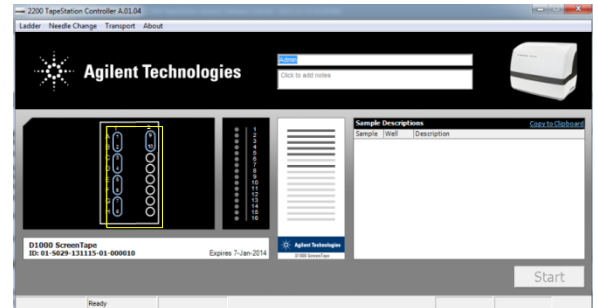


以前使用したTapeの場合

使用済みのレーンがグレーで示されます。

8連チューブの場合は、残りのレーン以上のサンプル数は選択できません。

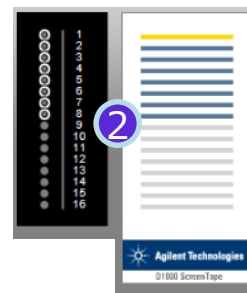
例) 6レーン使用したTape
8連チューブでは10サンプルしか選択できません。



2台以上のTapeStationをお使いの場合
ScreenTapeの使用履歴などの情報はPCに保存されています。
違う装置・PCで使用済みのScreenTapeを使用しないでください。

2 Loading tip およびTape

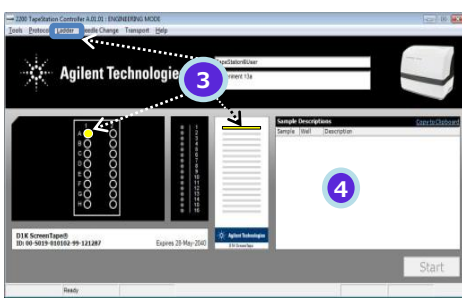
使用するLoading tip の場所、Tapeのレーンの色が変わります。



3 Ladder

1番目に泳動するサンプルが自動的にLadderと指定されます(黄色で示されます)。

1番目以外にLadderを入れた場合、泳動後、解析ソフトウェアでLadderを指定する必要があります。
方法は解析ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

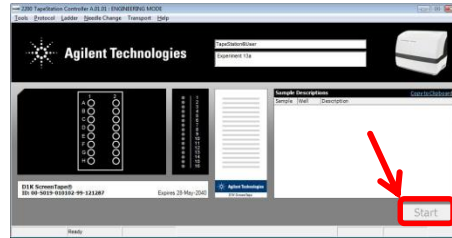


4 Description

必要に応じて、sample名を記入してください。
txt fileからCopy & pasteすることが可能です。

Runの開始

1 スタートをクリックします。



2 保存するデータ名・保存場所が表示されます。→ OKをクリック

デフォルト設定

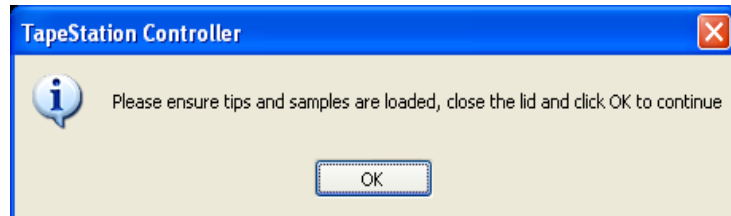
データ名: 日付-泳動回数 (例: 2014-01-13-01)

保存場所: Library>documents>Agilent>2200 TapeStation data

3 最終チェック

Loading tip、サンプルをセットしたか、
8連チューブのフタをはずしたか
確認してください。

OKをクリックすると泳動が始まります。



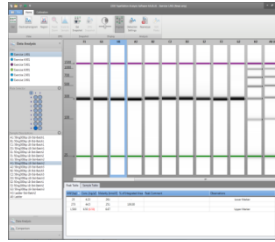
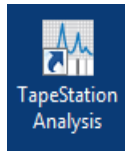
泳動中は蓋を開けないでください。

泳動中は装置前面のライトが点滅しています。

開けると途中で泳動がストップし、データを取得できません。

Runの終了

1 データの確認



泳動終了後、自動でAnalysis softwareが立ち上がりデータが表示されます。



Markerが全く検出されていない場合、以下をチェックしてください

サンプル → ・気泡が入っていたり、液が壁面についていないか？



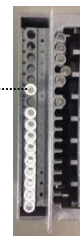
Loading tip → ・使用した全てのtipがbucketに入っているか？
・折れ曲がっているチップはないか？

ScreenTape → ・使用したレーン全てに正しく穴があげられているか？

・電極(バーコード側) 周りに細かい泡が発生しているか
(電流が流れたかどうかの指標になります)



Tapeの上からの写真
正しい穴の位置 (青) と ずれた穴の位置 (赤)



2 サンプル、ScreenTape、Tip folderを取り出します。

✓ Tapeの保存

使用しないレーンがあった場合、**4°C**で**2週間**保存できます。

流路を立てた状態で、バーコードを下にして保存してください。

使用したレーン、日付はPCに自動的に記録されています。

(使用したレーンからbufferが漏れる可能性がありますので、元の袋に入れていただくと安心です。)



✓ 使用済みLoading tipの廃棄

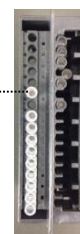
使用されたLoading tip はtip bucketに移動しています。

使用後はtip bucketを空にしてください。



泳動時にtip bucketにLoading tipがあると泳動開始できません。

未使用tipはTransfer toolを使ってLoading tipケースに戻し、次回以降使用してください。



3 システムのシャットダウン

Controller software、TapeStation、PCの順番にシャットダウンしてください。

Analytical Specification	High Sensitivity D5000
分析分子量範囲	100 - 5000 bp
ピーク分離能	400 - 5000 bp: 15%
感度*1	5 pg/μL
サイズ決定再現性*2	10% CV
サイズ決定真度*2, 3	± 15%
定量再現性	15% CV
定量真度*4	± 25%
定量範囲	10 - 1000 pg/μL
使用可能緩衝液濃度	25 mM KCl, 25 mM Tris-HCl, 12.5 mM NaCl, 5 mM Acetate, 2.5 mM MgCl ₂ , 2.5 mM BSA, 2.5 mM Guanidine-HCl
分析時間	16 samples < 25 minutes
サンプル数 / 1 Tape	15 (+ 1Ladder)
サンプル必要量	2 μL

- *1 Signal:noise ratio >3 for a single peak
 *2 Determined using the Ladder as sample
 *3 Accuracy for run using single ScreenTape device
 *4 Measured against 2100 Bioanalyzer

プロトコルなどのダウンロードサイト

https://www.chem-agilent.com/lscabooth/DNAMicroArray/yan_MicroArray.htm
 (ログイン名、パスワードはお問い合わせください。)

製品に関するお問い合わせ先 ;

Phone: 0120-477-111

Fax: 0120-565-154

Mail: email_japan@agilent.com

=====

電話・メール受付時間 土、日、祝祭日を除く

9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 18 : 00

=====